

社会貢献とコミュニケーション

Communication

2009年度も、日本および世界のさまざまな地域・人々と交流し
コミュニケーションを深めてまいりました

これからも社員一人ひとり、よりいっそうの地域社会との調和と貢献に努めてまいります

稚魚の放流 —福岡県北九州市立田野浦小学校—

2010年1月、福岡県北九州市の関門航路浚渫工事の現場において、田野浦小学校の生徒さんと一緒に「稚魚の放流」を行ないました。

関門海峡に生息する魚の紹介、浚渫工事の説明を行ったあと、現地でカサゴの稚魚約1万匹を放流しました。最初は、魚にさわれなかった子どもたちも、すぐになれて夢中になってつかんでいました。



朝の挨拶運動 —静岡県伊豆の国市立大仁中学校—

2010年2月、大仁中学校の新校舎が完成しました。通常の授業を続けながらの約1年半にわたる工事を生徒さん、先生方、また地域の方々のご協力に支えられながら無事竣工し、新年度を新しい校舎で迎えていただくことができました。工事期間中、現場では朝の挨拶運動に参加し、登校する生徒さんを校門前で迎えました。



現場見学会 —岡山県立笠岡工業高校—

2009年6月、広島県福山港の航路浚渫工事の現場に、岡山県立笠岡工業高校の生徒さんと先生方、計42名をお招きして現場見学会を開催しました。

当日はワイドグラブバケットによる浚渫工事を海上から見学。工事のスケールの大きさを実感するとともに社会資本整備への理解を深めていただく良い機会となりました。



地域美化活動に参加

2009年12月まで本社ビルがあった千代田区が主催する「千代田区一斉清掃」に合わせて、年2回(6月、11月)本社ビル周辺の清掃に参加しました。千代田区にお住まいの皆さん、通勤・通学されている皆さんと一緒に清掃を行なうとともに、ごみのポイ捨て禁止などの意識の啓発に努めました。



エコキャップ活動の推進

当社は、NPO法人エコキャップ推進協会が推進するエコキャップ活動に参加しています。この活動は、ペットボトルのキャップを再資源化してCO₂の削減を図るとともに、キャップの再資源化で得た売却益で世界の子供たちにワクチンを届けることを目的としたものです。本社・支店のオフィスから現場まで全社展開し、ペットボトルのキャップの回収を推進しています。

2010年1月の新宿区への移転後は「西新宿ボランティア清掃」に参加しています。これは西新宿エリアの超高層ビルや企業、団体が協力しあい、月に1度清掃を行なうものです。当社が入居する新宿パークタワーの一員として参加することで、西新宿に勤める者としての意識も高まります。

支店、現場においても周辺の清掃活動を積極的にこなっています。

シンガポール インターンシップ実施

シンガポール・マリーナサウスICT事務所では、教育文化活動の一環として、当社に在籍する現地大学OBを通じインターンシップを受け入れています。

当社のインターンシップ、ミシャルさんはシンガポール大学の3年生で土木工学を学んでおり、当事務所での主な担当業務は図面作成・数量確認・進捗図更新などです。マリーナサウス地区で建設が進む旅客船ターミナルの現場にも積極的に赴き、施工の進捗を確認しています。

将来を担う現地の若者に、建設業に携わることや当社の得意分野である海上工事の魅力を伝え、優秀な人材を建設業に確保することも海外に進出している当社の使命と考えています。



インターンシップのミシャルさん(右)と紹介者である当社社員のイブラヒムさん

メキシコ マンサニージョの自然環境保全

マンサニージョはメキシコ・コリマ州の太平洋に面した港町で、有名な観光地アカプルコの北に位置します。

当社はここで LNG 受入れ栈橋建設工事を行なっておりますが、現場付近は、自然豊かな場所で、ラグーンの干潟沿いにはマングローブが繁茂し、陸上には樹木が茂り、そのなかには小動物が生息しています。そこで自然環境の保全を目的とした取組みとして工事着工前に小動物を

捕獲し安全な場所に移動、またマングローブを新しい場所に植え替えました。



アニマルレスキューが小動物を捕獲し、安全な場所へ逃がす



アンゴラ ナミベ商港緊急改修工事

アンゴラ共和国は、アフリカ中南部の大西洋に面しており、石油やダイヤモンドなどの豊富な資源を背景に急激な経済発展を続けています。

ナミベ商港は、首都ルアンダより、南へ約750kmの地にあり、水産業が盛んな地域ですが、現在の港湾施設は老朽化しており、荷役作業を行なううえで不十分なため、1日も早い改善が求められていました。

港湾の改修、荷役効率の向上により、アンゴラ南部開発の拠点となり、内陸国、内陸地域の海の玄関口として、また資源輸出基地として、より一層の発展が期待されています。



施工状況 / 既設走行クレーン移動



ナミベ州知事の現場視察状況

タイ・ラオスに「救援衣類を送る運動」

アジア連帯委員会 (CSA) では難民キャンプやタイ・ラオスの方々に「救援衣類を送る運動」を行なっています。東亜建設工業労働組合では毎年この運動に参加し、組合員に協力を呼びかけています。2009年はダンボール箱63個分の衣類を送ることができました。